

兩者強硬ナル態度ニ出デ一時決裂セントシタルモ再考慮ヲ申合セ
後日再會ヲ約シ平穩裡ニ散會セリ

五月三十一日所轄改警察署ニ於テ會見同署長立會ノ下ニ

日活社關西支店長 後藤 周三

日活社顧問 鈴木 吉之助

従業員代表 船司 船 船

労働組合 金正 米吉

村尾 重雄

會見シ折衝ニ努メタル結果翌六月一日午前六時二十分ニ至リ左記
覺書ヲ作製圓滿ニ解決セリ

覺書

昭和九年五月三十一日發生シタル日活（以下甲ト稱ス）對公樂座
従業員（以下乙ト稱ス）ノ紛争ハ左ノ條件ヲ以テ圓滿解決シタリ
右實証トシテ覺書三通ヲ作成シ立會人及紛争當事者ニ於テ一通ヲ

保存スルモノトス

一、甲ハ乙ノ組合組織ヲ承認シ爾後總同盟大阪合同労働組合トノ間

ニ団体協約權ヲ締結ス

一、従業員ノ給料ハ減額セズ

一、元従業員中三十五名ハ採用ス

一、正當ノ事由ナクシテ従業員ノ解雇ヲ行ハズ

一、一ヶ年勤續者ニハ慰勞金トシテ給料一ヶ月分ニ相當スル金額ヲ

手交ス 但シ此場合ハ日活ノ規定ヲ適用セズ

一、金一封ヲ支給ス

昭和九年六月一日

以上